

m.magic MZ dll 説明書

revision 30

目次

1 [シェアウェア](#)

1.1 利用条件.....	3
1.2 ライセンス取得.....	3

2 [概要](#)

2.1 準備	4
2.2 必要ソフト.....	4
2.3 サポート方法.....	4

3 [使い方](#)

3.1 ヘッダファイル.....	5
3.2 関数一覧.....	5

4 [追加情報](#)

5 [使用条件](#)

5.1DLL 仕様.....	7
5.2 使用可能 OS.....	7
5.3 動作確認環境.....	7
5.4 開発環境	8

6 [変更履歴](#)

1 シェアウェア

ダウンロードありがとうございます。m.magic MZ DLL は、シェアウェアです。継続使用する場合は、下記の方法で 2,222 円を送金してください。

1.1 利用条件

- m.magic MZ DLL に関するプログラム及びドキュメント等の著作権は、作者が保有します。
- mgc1mz.dll を継続使用する、または、評価の目的以外での使用する場合、必ずシェアウェア料の支払いが必要になります。
- 試用期間中は、"再配布可能ファイル" に記載されるファイルの再配布はできません。
- 再配布可能ファイル mgc1mz.dll
- このプログラムの使用によるいかなる損害に対して作者は責任を負いません。

1.2 ライセンス取得

- ベクターシェアレジ利用
作者名：丸山一利
ライブラリ作者番号：PA031043
作品名：m.magic MZ DLL
レジ作品番号：SR411320
- 銀行口座
みずほ銀行 雷門前支店 支店番号 601 (普)1498221 丸山一利

2 概要

m.magic MZ DLL は、CPUID 命令を使用し CPU が持っている情報を読み取る。レジスタ内の情報を解析し表示する機能に加えクロック数を返す機能も有する。また、CPUID 命令により返された内部レジスタごとの生データを取得することも可能なので CPU が有している機能を調べることができる。

2.1 準備

- マイクロソフトダウンロードセンターから “Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム (KB2999226)” を入手する (不要な場合有)
- マイクロソフトダウンロードセンターから “Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ” を入手する
- C ランタイムの更新プログラムをインストールする (不要な場合有)
- Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージをインストールする
- ダウンロードしたファイルを伸張する
- サンプル中の DLL をロードするクラス等をコピーして使用する

2.2 必要ソフト

- Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ
- Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム (KB2999226)
- Visual C++ or Visual C# or Visual Basic.NET

2.3 サポート方法

e-mail のみのサポートです。回答には一週間程度かかることがあります。

e-mail アドレス : m.magic@dream.nifty.jp

3 使い方

3.1 ヘッダファイル

サンプルプログラム内に、ヘッダファイルおよび本DLLをロードするファイルが含まれている。コピーして使うと便利です。

3.2 関数一覧

関数	機能説明
mmzGetIdentity	CPUID 命令により得た生データを返す
mmzGetInformation	CPUID 命令により得たデータを解析した情報を返す
mmzGetWindowsVersion	ウィンドウズのバージョンを返す
mmzIsWow64	現在 WOW64 で動作しているか否かを返す
mmzGetFileVersion	ファイルバージョンを返す
mmzGetTemporaryFileName	テンポラリファイルの名前を返す

4 追加情報

- サンプルプログラム(2016.05)

VisualStudio 2008 で作成されている。新しいバージョンで読み込んだ場合変換後、コンパイル時にワーニングが出ることがある。修正してください。

- 文字セット(2016.05)

文字セットは、UNICODE です。

- ユニバーサルC R T (2016.05)

Microsoft Visual Studio 2015 を使用して作られたプログラムは、ユニバーサルC R T に依存する。Windows のバージョンによっては、KB2999226 をインストールする必要がある。

- ランタイムD L L (2016.05)

外部ランタイム方式で動作している。Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージをインストールする。

5 使用条件

5.1 DLL 仕様

- MFCを共有DLLとして使用。すなわち Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージのインストールが必要
- ユニバーサルCRTに依存。Windows のバージョンにより KB2999226 のインストールが必要
- 文字セットは、UNICODE
- 拡張命令セットは、SSE 有効 AMD64 については SSE2 有効

5.2 使用可能 OS

○ 可 – 未確認 × 不可

OS	x86	x64(WOW64)	x64
Windows 8	○	○	○
Windows 7	○	○	○
Windows Vista	○	–	–
Windows XP	–	–	–

5.3 動作確認環境

PC	CPU	RAM	OS
ASUS M5A88-M EVO	Athlon II 605e	4.0G	Windows 7/8
ASUS A7S8X-MX	Sempron 3000+	1.5G	Windows Vista

5.4 開発環境

Windows8

Windows7 (SP1)

Windows Vista (SP2)

Visual Studio 2015 Community (Update 2)

Visual Studio 2008 (SP1)

6 変更履歴

Version	日付	主要内容
1.0	2016.09	<ul style="list-style-type: none">• 初期リリース